



石見町・日吉町まちづくり通信

【第11号】
平成29年10月
秋号

発行
倉敷駅周辺
開発事務所
086-434-8671

倉敷駅周辺総合整備計画を策定

広報くらしき9月号に「倉敷駅周辺総合整備計画」の策定について特集記事が掲載されておりま



広報くらしき9月号の4～6ページを参照ください

JR倉敷駅周辺のまちづくりは、これまで平成5年に策定した「倉敷地区都市拠点総合整備計画」に基づき基盤整備が進められてきましたが、策定から20年以上が経過し、土地利用の状況や社会経済状況などが大きく変化したため、現状を調査して、今後20年のまちづくりの基礎として今回の計画が策定されました。

この計画では、市街地の形成、道路ネットワークの形成・強化、防災性の向上などが示されており、倉敷駅周辺第一工地区画整理事業の区域も対象となっております。

石見町は移転計画策定へ

7月初旬から石見町の権利者のみなさまを訪問し、移転時期に関するご要望を伺いました。みなさまが希望される移転時期と道路やライフラインの整備状況等を考慮して、来年2月には移転計画をお知らせする予定です。

移転計画により、みなさまの具体的な移転時期が定まりますので、それに合わせて、建物調査、補償契約、建物の解体、補償費のお支払い、という流れで進めさせていただきます。

今年7月以降、建物調査が本格化しており、9月末までに6件の調査が完了しました。今後は、12月末までにアパート2棟、借家人約20人の調査も実施してまいります。

また、道路等の公共施設の工事も進めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

市有地等の管理とパトロール

区域内の市有地等については、草刈り等を実施すると共に、当事務所職員が自転車やパトロール車で巡回して保全管理に努めております。

特に、水路工事が完成した箇所については水が深くたまっており、ネットなどを設置して安全に努めておりますが、事故防止のため立ち入らないようお願いいたします。



パトロールに使用する自転車

石見町は、美しさと風格が感じられる空間を形成し、商業施設等とあいまって更なる賑わいを創出すると共に、倉敷みらい公園への避難経路の確保や区画道路整備による防災性を高める「賑わい形成ゾーン」に位置づけられております。

日吉町は、新規道路整備に伴う沿道土地利用の促進を図りつつ、幅広い世代や多様な生活スタイルに対応した利便性の高い居住環境を整え、まちなか居住を進める「多様な居住推進ゾーン」に位置づけられております。

この計画に沿って、土地区画整理事業を推進してまいります。

日吉町の今後の予定

7月に、まちづくり通信・夏号の配布等で、権利者のみなさまを訪問させていただきました。その中で、「新しいまちを早く見たい」「早く建物を建てて住みたい」といった事業の推進を求める声が多く聞かれるようになりました。

当事業の同一施行区域である石見町は、昨年11月に仮換地指定を行い、建物調査や造成等を進めています。日吉町におきましても、早急に仮換地指定を行えるよう努めてまいります。

工事の進捗状況と予定

9月11日に日吉公園東側で造成工事に着手いたしました。これは、みなさまがアパート等の仮住居に移っていたり、荷物を保管する倉庫や庭木を仮植えるための敷地です。今後、敷地を囲うフェンスや倉庫本体の工事を予定しております。また、稲刈りが終了した頃に、石見町において水田の造成や道路側溝の工事にも着手する予定です。



日吉公園東の造成工事現場

工事車両の通行などご迷惑をおかけいたしますが、安全等には万全を期してまいりますので、よろしくお願いいたします。

編集後記

事業区域内でタヌキとイタチが続けて見つかりました。

タヌキは農作物を荒らすことがありますし、イタチは天井裏や床下に住み着いて、ダニやノミが発生する原因になる場合もあるそうですのでご注意ください。

